

## 高野山月例研修会旅行報告

池田 富子

弘法大師空海が開いた真言密教の聖地高野山。その高野山への研修旅行、足が達者でない私はもう一つの目的をもって参加。というのは亡き夫を一の橋近くの赤松院に永代供養しているの、皆さんが女人道を歩いている間に赤松院で法要をしていただく予定でした。

金剛峯寺駐車場に到着後、女人道の歩き組(13人)と金剛峯寺周辺を散策する組(7人)に分かれ、私は赤松院に法要に行くと話したら、7人の方が私と一緒にお願いしますとの嬉しいお言葉。タクシーで赤松院へ。赤松院は千年続く歴史と高野山を代表する二千坪の回遊式庭園や左甚五郎作の「木彫りの虎」等、国宝級の芸術品を所蔵されている古刹です。ご住職の読経の下、主人の法要と7人の先祖供養をしていただきました。寺院の中を見学して皆さん良かったね!と寺院を後に……。寺院前の喫茶店でゆっくり一服。そろそろ歩いて帰ろうかと表に出たら、歩き組を迎えに行く生駒交通のバスが目の前に!!わーと一斉に手を挙げて便乗し、中の橋の駐車場へ。待つこと暫し!!

帰って来ました。一番青木さん(?)、続々と12人(一人落ちこぼれ?)。皆さん汗だくでお疲れさま!皆さんと合流して釈迦文院宿坊へ。食事まで時間があつたので、金剛峯寺の高野山書道競書展に行き、吉田さんの作品を鑑賞。その後、お寺も見学。充実の一日でした。

夕食後の二次会は全員参加で盛り上がりすぎ。一人沈没する度、田中さんが部屋に連れて行き、二人目、三人目、会長沈没寸前でお開き。楽しかった!

二日目も歩けない組(4人)はタクシーで奥の院御廟まで。御廟にお参り後、主人の納骨堂にもお参りできて満足。その後は皆さんと一緒に楽しい旅!!幹事さんに感謝、ありがとうございました。

## 巡って よかった 高野山

増田 典男

8月1日(月)、朝9時 近鉄奈良駅前「猛暑とコロナから逃避しよう」と決心した20名がバスに乗り込みました。途中昼食をいただき無事高野山に到着。人気は少なく静寂ではあるが日差しは厳しく涼しさは感じない。明治の初めまでは高野山は女人禁制、七つの入口近くに女人信者が籠れる女人堂があり険しい「女人道」をたどったとの事。大汗をかきながらその道を巡りました。信心とはすごいものです。電車・ケーブル・車で楽々いける我々とは根性が違います。「暑いなあ!宿坊で宴会や!ビールや!」ご利益あるのかなあ?南無大師遍照金剛

宿坊は「釈迦文院」、汗を流して精進料理の夕食。ほぼ黙食。その後は?自室に戻って一気に開花。オールセーフか総倒れ。詳細は省略しますが「語らい」は大事です。大吟醸旨かった。

翌日の熱心ガイド付きの奥の院口から御廟までのお墓巡りは林間学校気分。有名大名の墓(五輪塔)など20万基を超える墓碑が大師信仰の厚さをうかがわせます。徳川二代将軍秀忠の正室「お江」の墓はあまりに巨大で圧倒されました。大勢で巨石を担いで山を登ったとか。



昼食後はまず弘法大師の御母公の化身とされる弥勒菩薩を祀る女人高野「慈尊院」、119段の階段を昇って高野山へ向かう登山口に鎮座する「丹生官省符神社」、最後は真田昌幸・幸村親子を祀る「真田庵」へ、道の駅でお買い物も。

お世話下さった皆さまに感謝します。早朝の涼しさは猛暑を、すがすがしい空気はコロナをしばし忘れさせてくれました。運悪く私の隣に座られたYさん、一睡もさせず、ゴメンナサイ!